

2022 年 4 月 28 日

各 位

「SDGs 応援リース」の契約及び寄付について

株式会社山形銀行（頭取 長谷川 吉茂）の 100%子会社山銀リース株式会社（社長 柿崎 正樹）は、ハヤマ工業株式会社（社長 小笠原 亘）の SDGs の促進に資する設備導入において、2022 年 2 月 14 日に「SDGs 応援リース」を下記のとおり契約いたしました。

また、2022 年 5 月 10 日にリース料の一部を山形県立長井工業高等学校へ寄付することとなりましたのでお知らせします。

「SDGs 応援リース」はお客さま及び地域の SDGs を促進することを目的とする商品です。商品の特徴として、お客さま及び当社で選定した SDGs の促進に向けた取組みを行っている団体へリース契約額の 0.2%相当額を寄付いたします。

当社はこうした取組みを通じて、お客さま及び地域社会の SDGs への取組みを全力で支援してまいります。

記

契約企業名	ハヤマ工業株式会社
代表者	小笠原 亘
所在地	山形県長井市泉 2296 番地
事業内容	生産用機械器具製造業
SDGs 促進に資する設備 (総称)	アマダ製 高効率液圧プレス機 ハイブリッドドライブベンダー (HG1003ATC)
契約概要	物件価額 45 百万円 リース期間 7 年
企業の特徴・SDGs 促進に 向けた取組み等	別紙 1 参照
寄付	寄付先 山形県立長井工業高等学校 (校長 河村 一郎) 寄付品 HP ノートパソコン 1 台 (金 100 千円相当) 詳細は別紙 2 参照
対応する SDGs	<物件による SDGs 促進>    

	<寄付による SDGs 促進> 4 質の高い教育を みんなに  16 平和と公正を すべての人に  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 
--	---

以 上

本件に関するお問い合わせ先
 山銀リース株式会社 本社営業部
 山川（政）・高橋（雅）
 TEL 023-632-4983

1. 企業概要

- (1) 企業名：ハヤマ工業株式会社
- (2) 代表者：小笠原 亘
- (3) 所在地：
 - 〒993-0031 山形県長井市泉 2296 番地
 - TEL 0238-84-1122 FAX 0238-84-1153
- (4) 資本金：35 百万円 (5) 設立 1970 年（創業 1956 年）
- (6) 従業員：22 名 (7) 主要品目：生産用機械器具製造業

2. 「SDGs 応援リース」契約内容

- (1) アマダ製 高効率液圧プレス機ハイブリッドドライブベンダー（HG1003ATC）一式
 - ① 新ハイブリッド・ドライブシステムを搭載し、油圧制御ポンプを従来の常時稼働からテーブル動作時のみとし、電力低消費に寄与。高速接近 220mm/s、高速曲げ 20mm/s、高速戻り 250mm/s と世界最速の移動速度、高い位置決め精度を実現。
 - 【省電力】【生産性向上】
 - ② 新油圧クラウニング機構により、長手方向角度のバラツキと中ダレ現象を自動補正。D・CC 軸にもハイブリッド・ドライブシステムを備え、高い通り精度を実現。
 - 【高品質】【安定性】【効率化】【安全性】
 - ③ 上部テーブルの傾きは、左右の各シリンダーとリニアスケールにより、NC にて簡単に平衡保持可能。ガイドローラー機構のため、カジリの発生もなく高寿命、容易なメンテナンスを実現。
 - 【精度維持】【時短】【耐久性】
 - ④ ネットワーク対応は Windows を OS にしたパソコン NC で、データサーバの vSDD と接続、曲げデータの保存、呼び出しが瞬時に可能。また、ベンダーNC 画面とネットワーク接続することで加工データ共有化が図られる。
 - 【生産性向上】【効率化】【時短】
 - ⑤ 本件増設により熟練工への依存度が軽減し、一般工による稼働寄与が図れる。
 - 【平準化】【効率化】【安全性向上】
- (2) 物件価額：45 百万円
- (3) 契約期間：7 年
- (4) 寄付：寄付先 山形県立長井工業高等学校（校長 河村 一郎）
 - 寄付品贈呈式 2022 年 5 月 10 日（火）
 - 寄付品 HP ノートパソコン 1 台（金 100 千円相当）
 - （山銀リース、ハヤマ工業の連名で）

(5) 設備投資による SDGs 促進

No.7 「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

No.8 「働きがいも経済成長も」、No.9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

No.12 「つくる責任つかう責任」

(6) 寄付による SDGs 促進

No.4 「質の高い教育をみんなに」、No.16 「平和と公正をすべての人に」

No.17 「パートナーシップで目標を達成しよう」

3. 当社の SDGs への取組経緯・取組内容

- (1) 当社は 1956 年（昭和 31 年）創業以来、精密板金加工を得意とし、現在は大手建機メーカー向け機械部品を主力に金属製品製造業を営んでいる。サプライチェーンの一員としての責務に加え、扱い製品が直接世間の目に触れる機会が少ないことから、地域・社会貢献を重視し、昨今は SDGs を意識した様々な取組みに注力している。
- (2) 本業においては、溶接ロボット等の導入やパンチレーザー複合加工自動ライン導入により、製品の正確化・自動化による安全性・高効率を追求してきた。また、熟練工負担軽減や若手人材育成を両立すべく、生産性・均質化向上に向けた努力を継続している。
- (3) また、社員が安心して仕事と生活の両立ができる雇用環境の整備に努め、地場出身者の積極的な受け入れによる地域・社会貢献と次世代育成支援などに取組んでいる。
- (4) 今後も全社を挙げ、お客さまや地域・社会の皆さま一人ひとりに向き合い、常に求められる良きパートナーとして貢献して参る所存。

4. 山形県立長井工業高等学校の SDGs への取組内容

(1) 【目指す学校像】

- ・使命「地域に貢献し、地域の産業を支える人材を輩出する」
- ・地域を潤す「源流」となって本校を巣立っていった生徒が、やがて「本流」となり地域を支え、新たな「源流」として本校を活性化する。
- ・社会変革に対応するため、柔軟な感性と確かな技術を養う。実践的なカリキュラムや様々な資格取得にチャレンジする。郷土愛溢れる地域人材を輩出する。

【教育目標】

- ・「人間性の育成」責任感と協調性を重んじ、礼儀正しく思いやりのある、心身ともに健康な人間の育成自分の可能性を信じ、自己実現に向かって努力する生徒
- ・「創造性の育成」確かな学力を身に付け、創造性豊かで実践力のある、たくましい人間の育成
- ・「社会性の育成」ものづくりと、地域に連携した活動を通して、社会に貢献できる人間の育成

(2) SDGs 促進への取組み

- ① 2021 年度から SDGs の視点を研究課題に取り入れ、校内で行ったワークショップや国立大学法人山形大学工学部有機材料システム研究科栗山卓教授による講話を実施し、ものづくりに対する考え方や視点を養い、本格的な啓蒙活動を開始している。
- ② 握力の弱い人が自由に使えるスプーンフォークの製作や薪を完全燃焼させ CO2 の排出を抑える緊急時に利用可能な災害用ロケットストーブを製作し、年度末の全校課題研究発表会で好評を得ている。
- ③ 2022 年度においても、各班・各課が工夫を凝らし、SDGs のゴールを更に広げた活動に着手している。今般寄付を受ける高性能パソコンにより、AI やプログラミング、プレゼンテーションにおいて一層の深掘りや連携が図られ、より SDGs を意識した課題研究への取組みが可能となる。

⇒ No. 4「質の高い教育をみんなに」

No.16「平和と公正をすべての人に」

No.17「パートナーシップで目標を達成しよう」



以 上

1. 寄付品贈呈式

(1) 日時：2022 年 5 月 10 日（火） 10:30～ 30 分程度

(2) 場所：山形県立長井工業高等学校 校長室

(3) 出席者：ハマ工業株式会社 代表取締役 小笠原 亘 様
山形県立長井工業高等学校 校長 河村 一郎 様
同上 教頭 柴崎 洋一 様
山銀リース株式会社 代表取締役 柿崎 正樹
同上 置賜営業部 部長 青木 郁典
同上 置賜営業部 調査役 八矢 隆行
株式会社山形銀行 長井支店 支店長 北村 潤
同上 西置賜営業部営業第一部 赤間 健也

(4) 寄付品：HP ノートパソコン 1 台（金 100 千円相当）

※当日は目録を手交させていただきます。

(5) その他：報道機関各位には、ぜひ取材いただけますようお願い申し上げます。

以 上